

第116期

第2四半期

KIZUNA通信

2021年1月1日 ▶ 2021年6月30日

NITTOSEIKO

日東精工株式会社



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第116期第2四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年6月30日まで）における概要をご報告申し上げます。

株主のみなさまへの利益還元について

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつと位置づけ、企業体質の強化および将来の事業展開に備えるための内部留保に努めつつ、業績に見合った安定的かつ適正な配当の継続を利益配分の基本としております。

中間の配当金につきましては、当期の業績を鑑み、1株当たり7円50銭とさせていただきます。なお、年間の配当金につきましては、1株当たり15円を予定しております。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心とする新型コロナワクチン接種の進展や米国での追加の財政支援を背景に回復傾向となりました。わが国においては、緊急事態宣言などの影響により対面型サービス業が低調となる一方、製造業においては、世界経済の回復を背景に輸出を中心に好調に推移しました。しかし、新興国や途上国は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、世界全体での経済回復時期は不透明な状況となっております。

このような経営環境において、当社グループは、2021年度経営方針「高い目標の達成を、高い志で目指す企業集団になろう」のもと、過去最高業績の達成を目標に掲げ、新たな事業を含む事業領域の拡充、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたモノづくり改革や環境に貢献する価値ある新製品の創出、地方創生や人材育成など、社会に必要とされる価値ある企業になるための施策を積極的に展開してまいりました。

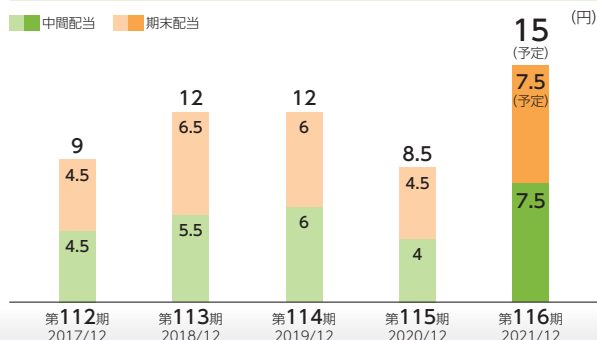
その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は202億5千2百万円（前年同期比27.5%増）、営業利益は18億8千1百万円（前年同期比245.4%増）、経常利益は20億1千万円（前年同期比233.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億3千1百万円（前年同期比273.6%増）となりました。

今後も、中期経営計画の戦略テーマであるグループの有機的なシナジー効果を生み出すため、事業ポートフォリオの最適化に取り組むとともに、ウィズコロナで課題が鮮明になったグループ内のICT化、IoT化による抜本的な業務改革、生産改革をテーマとして掲げ、効果、効率の高い企業価値の創造を目指してまいります。

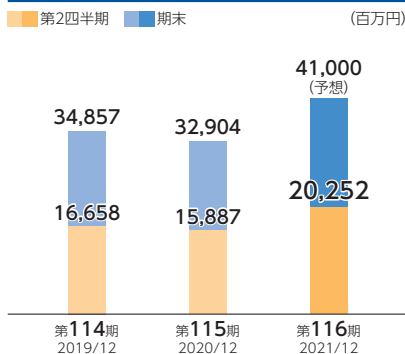
株主のみなさまにおかれましては、今後とも倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくご願い申し上げます。

代表取締役社長 材木正己

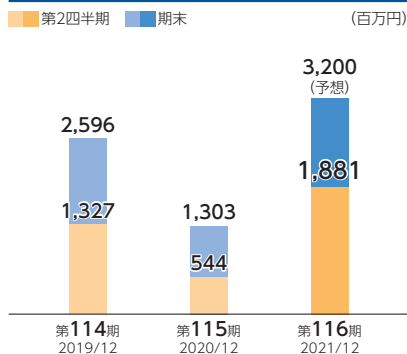
1株当たりの配当金の推移



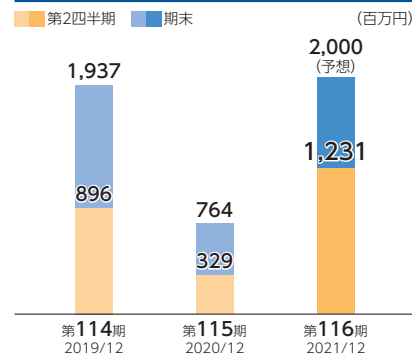
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



セグメント概況

ファスナー事業

主な製品 精密ねじ、セルフタッピンねじ、ゆるみ止めねじ、特殊冷間圧造部品、複合部品、異種金属接合部品、ねじ製造用工具

売上高構成比

69.1%



売上高 **13,985** 百万円
前年同期比 **24.5% UP**

- ▶ 精密ねじは、コロナ禍における外出自粛を背景に、ゲーム機やパソコン向けの需要が好調に推移
- ▶ 一般ねじは、電子制御の進化に伴う車載用ECU向けの需要が増加
- ▶ グループ全体の経費削減施策の効果などにより利益が大きく伸長

産機事業

主な製品 ACサーボねじ締めドライバ、ねじ締め機、ねじ締めロボット、ねじ供給機、リベットかしめ機、自動組立機

売上高構成比

18.2%



売上高 **3,690** 百万円
前年同期比 **18.4% UP**

- ▶ 中国においては、各地の自動車の購入促進政策や雇用・所得環境の改善により、自動車関連業界の設備需要が好調に推移
- ▶ 米国においては、回復傾向にあるものの、コロナ前の水準への回復には至らず低調
- ▶ 国内は、自動車のCASEに関わる設備や、エネルギー・住宅関連設備の需要が増加

制御事業

主な製品 流量計、計装システム、検査選別装置、マイクロバブル洗浄装置、地盤調査機、元素計、水分計

売上高構成比

12.6%



売上高 **2,552** 百万円
前年同期比 **66.8% UP**

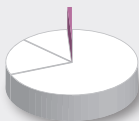
- ▶ 流量計は、コロナ禍における消毒液や巣ごもり食品の需要増加を背景に医薬品業界や食品業界で好調に推移
- ▶ システム製品は、ものづくり補助金を利用した省人化設備の需要が増加
- ▶ 地盤調査機「ジオカルテV」は、住宅需要の回復と昨年市場へ投入した「ジオカルテIV」への買い替え需要が増加

メディカル事業

主な製品 医療用照明器

売上高構成比

0.1%



売上高 **23** 百万円

- ▶ 医療用照明器「フリーレッド」など、需要は増加傾向にあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大による医療資源の不足、医療機関への訪問自粛など、事業環境は厳しい状況
- ▶ 「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」の製品化に向けた取り組みを推進

第2四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 (2020年12月31日現在)	当第2四半期末 (2021年6月30日現在)
資産の部		
流動資産	27,704	31,890
固定資産	18,517	18,022
有形固定資産	12,933	12,930
無形固定資産	1,421	1,366
投資その他の資産	4,162	3,725
POINT 1 資産合計	46,222	49,912

POINT 1 現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加などにより、資産合計は3,690百万円増加しました。

科目	前期末 (2020年12月31日現在)	当第2四半期末 (2021年6月30日現在)
負債の部		
流動負債	11,618	13,711
固定負債	4,745	4,658
負債合計	16,364	18,369
純資産の部		
株主資本	27,445	28,573
その他の包括利益累計額	△ 577	△ 324
非支配株主持分	2,989	3,294
POINT 2 純資産合計	29,858	31,543
負債純資産合計	46,222	49,912

POINT 2 親会社株主に帰属する四半期純利益1,231百万円の計上、配当金の支払い167百万円、為替換算調整勘定の増加213百万円、非支配株主持分の増加304百万円などにより、純資産合計は1,685百万円増加しました。

第2四半期(累計)連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (2020年1月1日から 2020年6月30日まで)	当第2四半期 (2021年1月1日から 2021年6月30日まで)
売上高	15,887	20,252
売上原価	12,231	14,977
売上総利益	3,655	5,275
販売費及び一般管理費	3,111	3,393
営業利益	544	1,881
営業外収益	194	208
営業外費用	135	79
経常利益	603	2,010
特別利益	—	125
特別損失	1	3
税金等調整前四半期純利益	601	2,131
法人税等	240	674
四半期純利益	361	1,457
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	225
親会社株主に帰属する四半期純利益	329	1,231

POINT 3 税金等調整前四半期純利益2,131百万円、売上債権の増加1,400百万円、仕入債務の増加1,379百万円などの結果、営業活動によるキャッシュ・フローは1,893百万円の収入となりました。

第2四半期(累計)連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (2020年1月1日から 2020年6月30日まで)	当第2四半期 (2021年1月1日から 2021年6月30日まで)
POINT 3 営業活動による キャッシュ・フロー	2,424	1,893
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,862	△ 337
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 524	△ 164
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 46	117
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 1,007	1,508
現金及び現金同等物の 期首残高	9,012	8,299
現金及び現金同等物の 四半期末残高	8,004	9,808

01 世界初の「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」を開発

当社と京都府立医科大学・富山大学などのグループが京都府の支援を受けて「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」を開発。

骨折手術などで骨の固定に使ったあと、役目を終えると身体の中で溶けてしまう医療用インプラント製品（髄内釘やねじ）に適した高純度マグネシウム材料の開発に成功したというものです。従来の骨折治療にはチタン合金やステンレス製の金属製インプラントが使われ、骨の接合後に抜去する手術が必要でしたが、それが不要となる世界初の画期的なものであること、これまでの医療常識を大きく変える可能性が高いこともあり、様々な形でメディアにご紹介いただきました。



02 鋼板に圧入して一体化させる「新型クリンチングスタッドボルト」を開発

締結部材におねじを圧入して一体化させるクリンチングスタッドボルトは、自動車業界を中心に多くの業界で採用されています。締結部材へ圧入時、締結部材の反りや圧入箇所バリなどの発生が難点となっていました。今般、当社ファスナー事業部で研究を重ねた結果、反りやバリの発生を軽減しつつ、従来品以上の回り止め強度（空転トルク）を得ることができる「新型クリンチングスタッドボルト」の開発に成功しました。本製品は、従来品と同様に締結部材に圧入するだけでこれまで以上の製品品質を実現し、お客様のモノづくりを強力にサポートしてまいります。



03 インドネシア現地法人 第二工場が一貫生産を開始

当社インドネシアの連結子会社のPT. NITTO ALAM INDONESIAが、第二工場（ブカシ工場）の大幅な設備投資と環境整備を終え、熱処理、めっき工程を完備した一貫生産工場としての体制を整えました。



04 「健康経営銘柄」「健康経営優良法人（ホワイト500）」にダブルで選定

健康に関する当社の様々な施策・取り組みは社外からも高くご評価いただくようになり、2021年3月4日には「健康経営銘柄2021」と「健康経営優良法人2021（ホワイト500）」にダブルで初選定されました。

当社は、健康経営推進委員会を発足させ、「生活習慣病などの疾病発生予防・重篤化予防」、「メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の予防」、「労働時間の適正化、ワークライフバランスの確保」を重点課題に掲げ、その取り組みとして、体力づくり強化月間を制定し、体力年齢チェックの実施や当社オリジナルの健康プログラム「Nicotto7（ニコット7）」を立ち上げてチャレンジしています。

このような健康への取り組みが「健康経営銘柄2021」「健康経営優良法人2021（ホワイト500）」の選定につながりました。



事業別の取り組み計画

ファスナー事業

EV化の需要拡大により燃費向上を目指した軽量化が進み、電池、センサー、ECUなどの部品には質の高い締結部品が求められています。そのニーズに応えるため、オリジナルタッピンねじや、クリンチングスタッドボルト、AKROSE、AKROSE HYBRIDなど、コストと環境に配慮した製品提案を図ってまいります。また、海外拠点や子会社と協業し、市場開拓や販売強化を進めてまいります。

執行役員
ファスナー事業部 事業部長
浅井 基樹



産機事業

新型コロナウイルスの影響により生活様式が一変しただけでなく、製造現場においてもリモート作業とIoT製品との融合やソーシャルディスタンス確保のための協働ロボット導入といった新しい働き方が求められています。協働ロボット用ねじ締め機を早期開発するとともに、製品の安心・安全を担保するRoHS指令の対応やCEマーキングを取得した製品の拡大を進めてまいります。

常務取締役 兼 常務執行役員
産機事業部 事業部長
澤井 健



制御事業

環境保全の活発化により環境負荷の少ない水と空気だけで洗浄可能なマイクロバブル生成技術において、新たな分野への参入を目指して共同で開発を行っています。また、安心・安全を担保した計測・制御装置を提供するため、既存製品の防爆認証を順次取得しています。販売においては、2020年に子会社化した日東精工アナリテック株式会社が持つ販売拠点を活用した拡販を進めてまいります。

取締役 兼 執行役員
制御システム事業部 事業部長
山添 重博



メディカル事業

2020年4月、第4事業として発足し、2021年2月には産学官連携で進めてきた世界初の医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料の開発に成功したことを発表いたしました。これまで骨折治療の金属製インプラント手術で必要だった接合後の抜去手術が不要となり、患者様の負担軽減が大きなメリットであると期待しています。早期の製品化に向けて注力してまいります。

取締役 兼 執行役員
メディカル新規事業部 事業部長
上嶋 伸宏



会社概要

CORPORATE PROFILE

(2021年6月30日現在)

会社概要

社名 日東精工株式会社 (NITTOSEIKO CO., LTD.)
本社所在地 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
設立年月日 1938年2月25日
資本金 3,522,580,100円
従業員数 537名
主な事業内容 各種工業用ファスナーの製造販売
各種自動組立機の製造販売
各種流量計および検査装置の製造販売

国内の事業所

本社 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 電話 (0773) 42-3111
東京支店 神奈川県横浜市港北区綱島東6-2-21 電話 (045) 545-3313
大阪支店 大阪府東大阪市本庄西1-6-4 電話 (06) 6745-8357
名古屋支店 愛知県名古屋市中区上社5-405 電話 (052) 709-5061
北関東営業所 群馬県邑楽郡大泉町吉田1221-3 電話 (0276) 63-8158
広島営業所 広島県広島市東区光町1-12-20 2階 電話 (082) 207-0622
九州出張所 福岡県福岡市博多区半道橋1-6-46 電話 (092) 411-1724

取締役、監査役および執行役員

(代表取締役) 取締役社長	材木正己	監査役(常勤)	北谷明
(代表取締役) 常務取締役 常務執行役員	荒賀誠	監査役(社外)	溝口克彦
(代表取締役) 常務取締役 常務執行役員	澤井健	監査役(社外)	多賀野博一
取締役 執行役員	上嶋伸宏	執行役員	浅井基樹
取締役 執行役員	山添重博	執行役員	石原雅和
取締役 執行役員	松本真一	執行役員	小雲康弘
取締役(社外)	塩見満	執行役員	桐村和也
取締役(社外)	平尾一之		
取締役(社外)	勝見九重		

株式の状況

STOCK INFORMATION

(2021年6月30日現在)

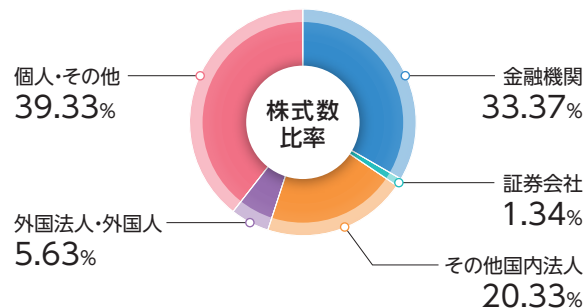
株式の状況

発行可能株式総数 98,800,000株
発行済株式の総数 39,985,017株
株主数 6,157名
大株主

株主名	持株数	持株比率
日東精工協友会	3,163(千株)	8.51(%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,412	6.49
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,947	5.24
株式会社京都銀行	1,855	4.99
グンゼ株式会社	1,784	4.80
神鋼商事株式会社	1,499	4.03
三井住友信託銀行株式会社	1,350	3.63
株式会社三菱UFJ銀行	1,347	3.62
日東精工従業員持株会	754	2.11
日本生命保険相互会社	619	1.66

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てております。
2. 自己株式2,802千株を除いて計算しております。

所有者別株主分布状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL (<https://www.nittoseiko.co.jp/>)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

当社では、ホームページにて企業情報を随時開示しております。製品情報、新着情報等のほか、IR情報ページでは、決算短信等を掲載しております。

また、CSRページでは統合レポートも掲載しております。

<https://www.nittoseiko.co.jp/>



上のQRコードからもアクセスできます。
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

